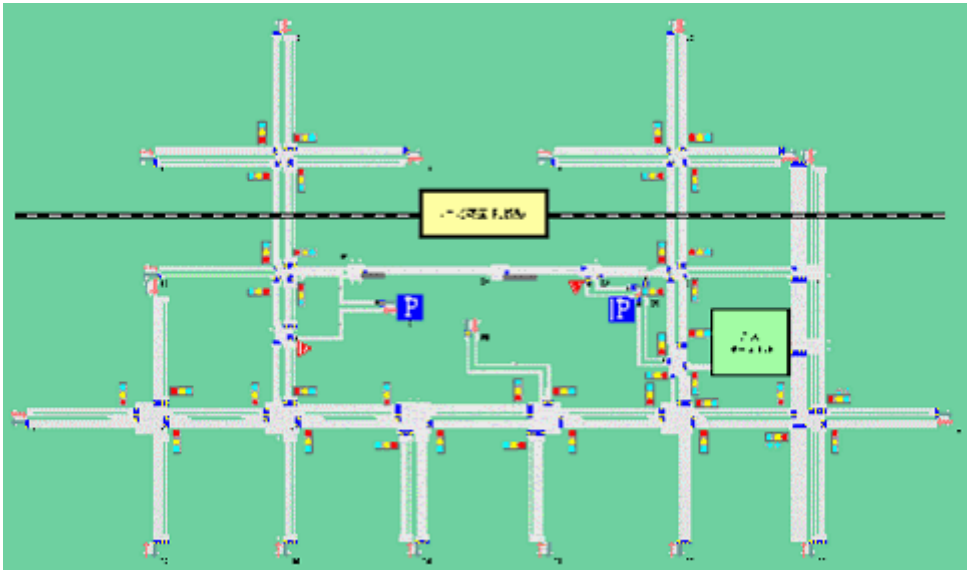


シミュレーションモデル適用事例シート

	大分類	集客施設	小分類	複合開発	シミュレーションモデル名	AVENUE			
概要	適用事例名	札幌駅南口開発による周辺交通への影響評価							
	目的・概要	本事例は、札幌駅南口に計画される開発ビルの開業後における計画地周辺の道路や駐車場施設内での自動車交通についての将来予測および分析を行うことを目的とする。駐車場出口の滞留台数を求めることにより、駐車場内の動線計画の検討を行い、また、北5条手稲通りの信号現示を改良すれば渋滞が大幅に解消することを提示した。							
	本事例におけるモデル適用上の特徴								
対象範囲及びネットワーク	対象範囲	札幌駅南口周辺(1000m×600m)	対象時間帯	休日 10:00~18:00					
	評価対象時期	現況(平成10年度)、札幌駅南口開発ビル開業時(平成13年度)							
	対象道路網	北5条手稲通りを中心とした札幌駅南口周辺の街区道路							
	ネットワーク規模	ノード数	38	リンク数	73	起終点ノード数	21	総トリップ数	92535
		一般街路ネットワーク		交差点数	12	信号交差点数	11	道路区間数	27
		自専道ネットワーク		分岐部数	—	出入口数	—	道路区間数	—
	特記事項								
		(ネットワークの概略図面を添付)							
									
	入力データ	道路データ	単路部	リンク長、車線数、リンク容量、ジャム密度、自由流速度					
交差点部			飽和交通流率、右折専用レーン長、交差点内滞留台数						
合流部									
信号制御		設定パラメータ	信号現示、オフセット						
		作成方法	実測データを用いる						
交通需要		設定単位	OD 交通量						
		作成方法	現況交通量: 交通量調査(平成8年、10年)の各交差点交通量及び右左折率より推定 開発交通量: 各施設の発生集中交通量、方向別比率、アクセス経路から設定						
		空間単位	道路端点および開発ビル駐車場、駅前広場、バスターミナル等の交通施設単位						
	時間単位	1時間単位、8時間							
	車両属性区分	乗用車、タクシー、大型貨物、バスの4種類、経路選択方法により区分							
その他									
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan 方式, 1秒/1スキャン							
	パケットサイズ	1台/パケット							
	経路選択原理	固定経路							
	特記事項								
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	各交差点流入部の飽和交通流率						
		方法	旅行時間および断面交通量が等しくなるようにパラメータを調整						
	検証方法	旅行時間、断面交通量を用いた検証							
	検証用データ取得方法	北5条手稲通り旅行時間をナンバープレートマッチング調査により収集							
出力データ	1)北5条手稲通り旅行時間 2)北5条手稲通り平均旅行時間 3)駐車場出口の滞留長								
記入者	所属機関・部署	(株)熊谷組 土木本部 社会システム部 交通システムグループ							
	電話	03-5261-5526	FAX	03-5261-9350	HP	<a href="http://www.kumagaigumi.co.jp/feature/its/escote.html">http://www.kumagaigumi.co.jp/feature/its/escote.html</a>			
公表文献・資料等									